

現在における東日本大震災の被災地でのボランティア例

東日本大震災の被災地におけるボランティア活動のニーズについては、がれき処理などから、「見守り」活動や「サロン活動の手伝い」のように、被災者の心身のケアやコミュニティ形成を促進するものに変化してきている。

また、NPO等の団体が、社協のボランティアセンターを通さず、直接に行っているところがほとんどである。復興庁HPでは、ボランティアを受け入れている団体を掲載しており、以下は実際に掲載している団体のボランティアの例である。

傾聴ボランティア サロン運営ボランティアの例

<受入団体>

認定非営利活動法人カリタス釜石
(岩手県 釜石市)

<内容>

仮設住宅の談話室や地域の集会所に住民をお誘いしてサロン(お茶の会)を開いています。コミュニティーをつくる目的のほか、孤立を防ぎ、困りごとなどを拾い上げる場となっています。ボランティアは傾聴活動が柱。住民の話に耳を傾けたり、一緒に手芸をしたりして過ごしてもらいます。



出典:<http://www.kahoku.co.jp/imadeki/2013/paper13.html>

写真洗浄ボランティアの例

<受入団体>

特定非営利活動法人おもいでかえる
(宮城県 仙台市)

<内容>

東日本大震災による津波に流され汚れてしまった写真の洗浄ボランティアや、写真整理のボランティアを募集しています。



出典:

<http://www.omoide-kaeru.com/index.php%E3%83%9C%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%A2%E5%8B%9F%E9%9B%86>
<http://ameblo.jp/omoide-kaeru/>

子どもと交流するボランティア の例

<受入団体>

特定非営利活動法人ビーンズふくしま
(福島県 福島市)

<内容>

仮設や借り上げ住宅、復興住宅に住む小・中学生の学習・遊び・レクリエーションのお手伝いや、仮設や借り上げ住宅、復興住宅に住む小・中学生向けの体験学習のサポート、「こども広場」のお手伝いのボランティアを募集しています。



出典:<http://www.beans-fukushima.or.jp/cheer/volunteer/>